

インターバンクの声（2015 年 7 月 16 日）

今週後半の注目となっていた米連邦準備制度理事会 (FRB) イエレン議長の下院金融委員会での議会証言だったが、議長から利上げ時期の言質を得ることは出来なかった。ただ、「経済が予想通りに改善すれば、年内のいずれかの時点で利上げが適切になる」とし、しかも証言後の質疑応答では「全ての会合で利上げを決定する可能性があることを強調したい」とも述べている。記者からの会合後の会見予定がない会合でも利上げする可能性があるのかとの質問に対しての返答だったが、まともに受け止めれば今月 7 月や 10 月の利上げ決定もあることになるが、議長は昨年 12 月にも会見のない会合でも政策変更を行う可能性があると言及しており、特段新しい発言ではない。前回までの会合に比べて、指標次第とする部分が薄らいだようにも感じられるが、ギリシャ問題の成り行きを懸念していることはうかがえる。

ブルームバーグ社が 2 日から 8 日に行ったエコノミスト 51 人を対象にした調査では、76%が初回利上げは 9 月になると予想しているとのことだが、昨日のイエレン議長の証言後、12 月利上げ説が若干増えたような気がする。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。